

解答例

藤井棋聖が最年少二冠



最年少で二冠を達成し、記者会見で色紙を手に笑顔の藤井聡太新王位＝20日午後、福岡市内のホテル

王位奪取、八段に昇段

将棋の藤井聡太棋聖（18）は20日、福岡市で指された第61期王位戦7番勝負第4局で木村一基王位（47）を破り、4連勝で奪取、最年少の18歳1カ月で二冠となった。タイトル通算2期の規定により、最も若く八段に昇段した。八つのタイトルのうち二つを制し、高校生

棋士が棋界の頂点へ向けさらに前進した。――関連記事27面へ

棋聖戦に続いて再び、タイトル戦を制した藤井新王位は「（記録は）意識していなかったが、結果を残すことができたのは収穫だった」と話した。対局は藤井新王位が強い手を放ち、80手までで押

し切った。2020年度は残る王将を奪取すれば、三冠となる。これまでの最も若い二冠の記録は1992年、羽生善治九段（49）が作った21歳11カ月。最高の九段に次ぐ八段昇段は58年の加藤一二三・九段（80）の18歳3カ月で、62年ぶりの更新となった。

- ①藤井聡太さんが制した「二冠」とは何と何のタイトルですか。
（ **棋聖** ）と（ **王位** ）
- ②2つ目のタイトルを取った時、藤井さんは何歳何カ月でしたか。
（ **18歳1カ月** ）
- ③「二冠」を制したことで、藤井さんは何段に昇段しましたか。
（ **八段** ）
- ④2段目の藤井さんの言葉「（記録は）意識していなかったが、結果を残すことができたのは収穫だった」から、タイトル戦に臨む藤井さんのどのような姿勢が想像できますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう。

（例）タイトル戦であることを意識せず、常に目の前の将棋に集中していた。
良い将棋を指そうとしていることが、自然に勝利とタイトルにつながった。 など

年 組 名前